

地元の中高生が、西口まつりに参加できる方法を考えよう



地域名：栃木県小山市

地域パートナー：小山市生涯学習課

10班 コミュニティデザイン学科
建築都市デザイン学科
社会基盤デザイン学科
グループ指導教員

鈴木結太
前多桃伽
横大路匠
白石智子

金井美雨
酒井琳
猪瀬貴史

中田貴大
成田茜
皆川創太郎

01 背景

小山市西口まつりは広い範囲を使った大規模なイベントであるが、ターゲット層が親子連れなど小さい子供or大人に限られている。地域の大きな行事に将来を担う中高生の参加が少ないことを課題と捉え、彼らの活躍の場を増やすことが必要だと考えた。



親子連れがメインターゲットの西口まつり

中高生に参加してもらおう・来てもらうための企画作りで多世代が参加するイベントに

若者たちの地域参画に繋げる

02 目的

背景から、以下の2つの目的を設定し活動を行った。

1 今まで西口まつりのターゲット層から外れていた中高生にも西口まつりに来てもらう。

2 中高生が活躍できる場があることを知ってもらい、今後の地域参画のきっかけづくりや中高生の地域参画を創出するための提案を行う。

03 活用

01

西口まつり参加準備

6/2.7/4.8/26.9/29
実行委員会への参加

実行委員会などで使用可能な会場とすりあわせた結果
・JR小山駅南口通路でのアート展示
・生涯学習センターホールでのステージ発表を企画することに決定。
企画案の詳細決定や募集のためのポスター製作、依頼書の作成を行った

7/24.29.8/8.18.19
高校生の展示や発表の協力依頼のため
小山市内の5高校に訪問

10/25
前日リハーサル実施

10/25.26
展示作品の準備

02

中高生参加促進



9/29.10/7.14
地図製作ワークショップ
高校生へ声掛けを行い
小山駅周辺のおすすめスポットを調査。

場所：小山市生涯学習センター「えるるOYAMA」
参加人数：延べ60人
回答件数：60件
目的：えるるOYAMAに来ている高校生の実質的な参加と西口まつりの認知を図った。

告知による西口まつりでの企画・活動の認知度向上につなげる

10/26
西口まつり当日の朝JR小山駅南口通路に完成したマップを展示

03

西口まつり本番
10/26



提案企画1 YOUTH STAGE OYAMA

目的：生涯学習センターホールを利用して高校生の発表の場を増やし周りの生徒たちへの広告効果を狙う。
業務：呼び込み、司会進行、出演者管理
小山市内4高校5団体が出演。
出演者の部活の先輩や後輩、家族などが見に来てくれていた。中には西口まつりをこの企画で知ったという人もいた。



提案企画2 南口通路アート展

目的：人通りが少ない南口通路に高校生の作品を展示し、高校生の参加の他に通行する人の増加を目指す。
業務：缶バッジ制作体験スタッフ
小山市内の2高校と個人参加2名、合計22作品。
作品を缶バッジデザインとし、来場者にバッジ製作体験をしてもらうブースを設けた。

04 動

04

アンケート調査と考察

西口まつり開催中のアンケート
調査内容：生涯学習センターの認知度を測る
対象：アート展とステージの来場者（約300人）
回答件数：56件

西口まつり開催後のアンケート
調査内容：西口まつり、地域参画についてのアンケート
対象：小山市内の高校生（約2,700名）
回答件数：117件

主な回答の結果

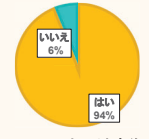


図1 西口まつりを事前に知っていましたか？

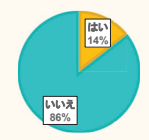


図2 西口まつりに来ましたか？

図3 どのような地域に関わる活動に参加したいですか？

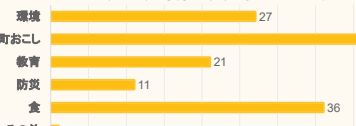


図3 どのような地域に関わる活動に参加したいですか？

図4 運営側や出演者として、西口まつりに参加したいですか？

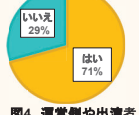


図4 運営側や出演者として、西口まつりに参加したいですか？

図5 今まで地域に関わる活動に参加した経験はありますか？

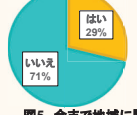


図5 今まで地域に関わる活動に参加した経験はありますか？

図6 地域に関わる活動に参加したいですか？

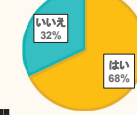


図6 地域に関わる活動に参加したいですか？

考察

西口まつりを事前に知っていた割合は9割を超えたが、実際に来場した割合は14%にとどまった。一方、運営側や出演者として参加したい人は7割を超え、地域活動への関心は高く中高生の活躍の場を提供することができれば参加したいと考えてくれる可能性が高い。

04 提案

西口まつりでの企画を継続し中高生の参加を持続的なものにする

1. YOUTH STAGE OYAMA

ステージ披露する中高生自身に、運営にも参加してもらおう方法にシフトしていく。

2. JR小山駅南口アート展・缶バッジ作成

運営のしやすさを考慮し生涯学習センターのギャラリーでのアート展・缶バッジ作成にしていく。

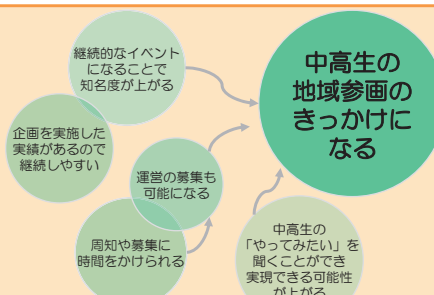


図7 提案のイメージ図

